



図書館へ行こう

中央図書館 6月1日(日)

休館日

各公民館図書室 6月1日(日)・10日(水)
※コンピュータシステム更新のため、5月26日(火)～6月1日(月)の間、中央図書館・各公民館図書室ともに休館。

5月の
児童テーマ棚
「みどり」

● 問合先 守谷中央図書館 ☎ 45-1000 FAX 45-7500
🌐 <http://www.city.moriya.ibaraki.jp/tanoshimu/library/>

スマートフォン、
携帯電話から
蔵書検索ができます



←スマートフォン



←携帯電話

電子図書館の利用申請が、インターネットからできるようになりました！

図書館の利用カードがあれば、インターネットから守谷市電子図書館の利用申請ができるようになりました。現在、紙の本で予約が入っている本でも、電子図書館なら待たずに読むことができるものもありますので、ぜひ試してみてください。

〈電子図書館とは？〉 デジタルデータで作成される出版物を電子書籍といいます。その電子書籍を図書館の紙の本と同じように検索・貸出・返却・閲覧できるのが電子図書館です。インターネットにつないだパソコンまたはスマートフォンなどで利用できます。

〈貸出点数、期間など〉

- ▶ 貸出点数 3点まで
- ▶ 予約点数 3点まで
- ▶ 貸出期間 15日間(1回のみ延長可)



電子図書館

中央公民館図書室、6月2日(火)いよいよリニューアルオープン！

日本以上に厳しいロックダウンの措置がとられている国々では、ニューヨーク近代美術館をはじめ、名だたる美術館・博物館が職員の雇用調整を発表し、文化セクター全

の拡大防止のため、日本でも外出自粛要請が出され、美術館の休館や公演の中止が相次いでいます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による文化活動への影響と世界のアート関係者の連帯

ARCUS

Artist in Residence - IBARAKI

現在のアート・芸術文化を守谷から。

- 問合先 アーカススタジオ (もりや学びの里内)
日・月曜日休館 ☎ 46-2600 (10:00～18:00)
✉ arcus@arcus-project.com
◎ 詳細な情報はアーカスプロジェクトで検索！



体が極めて厳しい状況に立たされていると言えます。そうした危機的状況を乗り越えるために、アメリカやヨーロッパ諸国は、文化に対する大規模な経済支援策を打ち出しました。

また、大小のアートスペースが、開催中止になつてしまった展覧会の代わりにオンラインで視聴可能なプログラムを打ち出したり、国際的な影響力を持つキュレーターのハンス・ウルリッヒ・オブリストが、アーティストの雇を生み出すために、イギリス政府に大規模なパブリック・アート・プロジェクト※の実施を提案したりするなど、さまざまなアート関係者がそれぞれの場所で、文化活動を絶やさず、コロナウイルス以後の世界へと繋げていく方法を模索しています。

ドイツのモニカ・グリユッタース文化大臣は、3月11日の声明の中で、「文化は良いときにのみ与えられる贅沢品ではない」と訴え、「アーティストには必要不可欠であるだけでなく、生きるために欠かせない存在だ」と述べています。危機の時代にこそ、人は心の拠りどころとなる芸術を欲するのではないでしょう

か。

暗い話題が多いコロナウイルス関連のニュースですが、人間の活動が減ったことにより自然環境が改善され、野生動物の活動は活発になっているという報告があります。この危機は、ヒトとモノの移動を伴う消費に支えられた資本主義社会のあり方、私たちのライフスタイルを見直すきっかけにもなるかもしれません。

アーティスト・イン・レジデンスは、アーティストの国際的な移動を促進し、文化的な交流を生み出す仕組みです。新型コロナウイルス危機が加速させる脱グローバル化の流れの中で、これからの時代に必要なアーティスト・イン・レジデンスのあり方を考えていかなければなりません。

しばらくは困難な状況が続きますが、アーカスプロジェクトでは状況が落ち着いたら皆さんを迎えたいよう、プログラムを計画中です。お楽しみに！

※1930年代の大恐慌時には、アメリカ政府が経済対策としてアーティストに作品を発売し、後に有名になるアーティストたちがキャリアを積むことができた。